

【第1号議案】

【2016年度事業報告】

■はじめに

任意団体から数え35年目を迎えた2016年度は、当会の活動の意義や目的、その達成に向けた方法の見直しを行なわなくてはならない現状が明らかになりました。

運行事業においては、車両運行規定の改定、運転協力者活動マニュアルの作成、利用者入会案内、車両利用の手引きの作成を行ない、運営方法の見直しと確認に着手しました。今後も必要に応じて、運営方法の見直しと確認を行ない明文化します。

運転会員を増やすことが急務となっておりますが、今期も人手不足を大きく改善することは出来ませんでした。宣伝のチラシを作成して区内の公的施設に配布する計画でしたが、実施できませんでした。

運行実績は昨年度に比べ減少しました。原因については検証する必要があるが、収入減により収支バランスがマイナスとなってしまいました。さらに、運行実績の減少は次年度世田谷区補助金の減少につながってしまうことは、現実問題として受け止めなくてはなりません。

今期は人身事故がありました。原因は車両の取り扱いミスと考えられます。事故発生後、運転会員全員に車両操作の徹底と安全運行への注意喚起を行ない再発防止に取り組みました。利用者に安心して使っていただけるよう信用回復に努めなければなりません。

八幡山地域支え合い・介護予防事業においては、認知症予防プログラムの受託なしが続いておりますが、プログラム受講者OBグループの活動が継続していることは高く評価できます。2017年度の認知症予防プログラム参加者募集時に、従来のパソコンプログラムに旅行プログラムを加えたところ、参加者があり3期ぶりに受託が成立しました。また、会が主催してスタートした講座が自主グループ化する傾向があり、新たな講座開設の検討を始めました。

1. 運行事業

①法令順守を徹底し安全で安心な車両運行を実現するように努めました。

運行規定の一部見直しを行うとともに、新規利用会員向けの利用のご案内と利用料の説明書を見直し、わかりやすくするとともに、現会員に対しても「ご利用のご案内」を作成し、2017年4月号の「街から街へ」に同封いたしました。

運転会員向けにも、マニュアルを作成するとともに、現任研修会等を通して、車両取り扱いの復習等を行いました。長く活動している方ほど経験則による運行を行う傾向もあり、基本に戻った安全運行が更に求められます。

②運転会員を増やす努力をしました。その一環として、会費規定を改定し運転会員の入会年度年会費は無料とすることを明文化しました。

世田谷区へ区の施設への運転会員募集の案内の掲示の依頼をしましたが、他の運行団体との調整もあり、継続して協議中です。その他に自動車ディーラーや自動車教習所への募集の掲示を依頼しました。

会費規定を改定し、運転会員の初年度年会費無料を明文化しました。

③新規運転会員は75歳までの募集としました。

運転会員の80歳定年は完全実施としました。75歳以上の運転適正検査受診については、実施方法を検討中です。

④新人運転会員育成のカリキュラムを作成しました。

運転会員に義務づけられる法定の国交省認定講習の他に、会としての新人研修用カリキュラムを作成し、それに基づいて新人研修を実施するようにしました。

⑤運転会員現任講習会と運転会員間の懇親会を実施しました。

○運転会員懇親会（納涼会 八幡山駅前飲食店）

開催日 2016年 8月12日(金) 18:30～20:30

参加者 6名

○運転会員現任講習会

開催日 2016年11月7日(月) 17:30～19:30

参加者 15名(運転会員以外も含む)

これまでは日曜日の開催が中心でしたが、初めての試みとして平日の夕方に開催しました。車両の取り扱い方法の確認と、座学を実施しました。また欠席した方へも可能な限り当日の学習内容をフォローする試みも行いました。

⑥利用者のニーズに極力応えられるよう努力しました。

利用会員から、送迎以外のニーズもよせられることから、個々に内容を検討しできるだけ応えるようにしました。また福祉サービス事業者からの利用希望者の紹介の受け入れも行い、また問い合わせによっては、区内の他の移送サービス団体を利用した方が良いと判断した場合は、他団体の紹介を行いました。

⑦より良い車両運行を実現するために、配車方法や利用料体系などを見直しました。

配車・運行管理事務の見直しを順次図っています。送迎利用料については、運転会員への実費弁済費(謝金)と回送費を中心に見直しを検討しており、2017年度にある法定の福祉有償運送登録更新協議の際に申請を予定しています。

年間運行実績

- ・送迎回数
3708トリップ(片道を1トリップとカウントする)
参考 2015年度 4054トリップ
- ・運送収入(請求金額ベース)
5,925,538円
参考 2015年度 6,623,990円
- ・送迎距離 55,666km
参考 2015年度 67,678km
- ・会員数 利用会員 170名
 運転会員 24名
 賛助会員 33名
 団体会員 3団体
- ・送迎利用目的別件数

(単位 トリップ数)

	4/1~6/30	7/1~9/30	10/1~12/31	1/1~3/30
一般通院	354	349	333	311
透析通院	0	0	0	0
通勤・通学	191	112	171	213
施設通所・施設利用 (デイ・リハビリを含む)	227	156	193	282
社会活動・社会参加	101	122	163	81
その他	49	96	89	115
計	922	835	949	1002
合計	3708			

・使用車両

車種	メーカー	登録年	走行km	2016年度送迎距離	備考
キャラバン	日産	2014年	37,670 km	12,133 km	
セレナ	日産	2008年	122,021 km	9,614 km	
セレナ	日産	2005年	106,412km	6,764km	
ハイエース	トヨタ	2010年	100,282 km	11,190 km	
シエンタ	トヨタ	2010年	92,893 km	10,828 km	スロープタイプ
エブリー	スズキ	2013年	29,886 km	4,656 km	スロープタイプ
エブリワゴン	スズキ	2008年	51,927km	481km	昇降シートタイプ

2. 交流事業

①会員による自主活動

実施日 2016年 4月 3日(日)

内容 江戸東京博物館の見学

参加者 14名

利用会員有志による交流会として、国立昭和記念公園での「お花見会」を予定していましたが、雨天のため江戸東京博物館の見学に変更されました。

※参加者感想、詳細については、会報（2016年5月号）に掲載しました。

②研修旅行

実施日 2016年10月30日(日)

行先 河口湖及び富士山五合目

参加者 25名

介助研修や各地のバリアフリー化を体験する日帰りの研修旅行として企画しました。今回は河口湖での遊覧船の乗船体験と富士山富士吉田口五合目での見学を実施しました。ほぼ予定通りに実施することができました。

※参加者感想、詳細については、会報（2016年11月号）に掲載しました。

③会員交流会（新春のつどい）

実施日 2017年 1月29日(日)

会場 レストラン赤坂クーポール千歳船橋店

参加者 23名+出演者2組（13名）

昨年好評だった千歳温水プール地下1階のレストランを会場に新年会として開催しました。今年は事務局スタッフが参加しているコーラスグループどんぐりの会と理事長の友人である さんに出演していただきました。

※交流会の様子については、会報（2016年3月号）に掲載しました。

3. 広報事業

①会報「街から街へ」の編集、発行（年11回 8月休刊）

299号～309号 毎号B5版4頁を基本。

②運転会員募集パンフレット、利用者募集パンフレットを関係機関に配布し会員拡大 運転会員募集のために、区の施設への掲示協力依頼。自動車ディーラー、運転教習所へのパンフレット配布依頼をおこないました。利用者は、関係団体・施設等からの依頼に応じて、ご案内を送付しました。

③各種メディアからの取材対応

可能な限り対応する用意がありましたが、残念ながらメディア対応はありませんでした。

4. 地域協力・参加事業

本会の活動趣旨に合致する以下の事業および団体に協力、加盟します。

①毎年「がやがやなまつり」において送迎協力

2016年度は会場である光明特別支援学校の都合で、中止となりました。

②ふるさと区民まつりへ世田谷区障害者福祉団体連絡協議会展出への協力

世田谷区障害者福祉団体連絡協議会展出を取りやめました。

③区民ふれあいフェスタ2016（12月4日）への参加

区民会館ロビーでの展示コーナーに出展しました。

④肢体不自由児者父母の会旅行の送迎協力

世田谷区福祉移動支援センターそとでのからの依頼により、集合・解散場所までの送迎に協力しました。

⑤上北沢あんしんすこやかセンター 買い物ツアーの送迎協力

今年度初めての企画で、買い物に不自由している方を対象に、あんしんすこやかセンターが企画した買い物ツアー（計3回）の送迎協力を行いました。

⑥本会が入会、加盟している団体

☆東京ハンディキャブ連絡会 ☆NPO 法人全国移動サービスネットワーク
☆障害者定期刊行物協会 ☆世田谷区障害者団体連絡協議会
☆世田谷区福祉移動支援センター そとでる（NPO 法人世田谷移動ケア）

☆八幡山町会

⑧人材を派遣する主な取り組み

- ☆世田谷区ユニバーサルデザイン環境整備審議会委員
- ☆世田谷区障害者施策推進協議会委員
- ☆世田谷区障害者自立支援協議会委員
- ☆世田谷区オリンピック・パラリンピック推進協議会検討部会
- ☆福祉有償運送運転会員認定講習会講師
- ☆世田谷区福祉有償運送運営協議会委員

5. 八幡山地域支え合い・介護予防事業

閉じこもりを防止し地域で元気に暮らし続けられることを目的に、当会が八幡山高齢者活動・移動支援施設を拠点に行なう事業です。今年度も世田谷区より認知症予防プログラム運営委託事業と本会が主催する各種講座を引き続き行ないました。

①主催講座、その他のグループ活動の推移

各グループの開催回数、参加人数は別表を参照。

1) かふえてらす文芸（主催講座）

持ち寄った作品をもとに月一回、アットホームな雰囲気の中で合評会を開催。

毎月第4土曜日13時～15時30分

2) 大気香教室（主催講座）

気功の中でも最も完成度の高い気功である八段錦を中心に指導。体力に応じて、無理なく練習する事ができます。高齢者を中心に熱心な活動展開を持続しています。

毎月第2、4木曜日10時～12時30分

参加費：600円／1回

3) 太極拳サークル

大気香教室参加者による自主練習

毎週火曜日10時～12時30分及び第1、3木曜日10時～12時30分

4) いづみ会 健康体操教室

阿波踊りを取り入れた「阿波踊り体操」。八幡山地域の婦人たちが参加

毎月第4金曜7日10時～12時

5) いづみ会 「絵手紙教室」

地域婦人を中心とした「絵手紙教室」

毎月第2月曜日13時30分～

講師：石井久子氏

6) 健康麻雀「ごらくクラブ」（主催講座）

地域の高齢者を中心に初心者からベテランまでが集い麻雀を通してコミュニケーションしながら楽しい時間を過ごしています。

毎週水曜日13時～

7) 朋友（中国語講座）

地域有志による中国語学習講座

毎週木曜日 16時～18時

8) いろはの会

9) サークル八幡

10) サークル10

11) ふみの会

12) 柿栗の会

上記8)～12)は、いずれも認知症予防プログラム参加者の講座終了後の自主活動。パソコンの学習とグループウォーキングを実施。

第1～第3金曜日 12時～16時(前半：サークル八幡、後半：サークル10)

第4金曜日グループウォーキング(サークル八幡、サークル10)

第1～第3土曜日 13時～16時(ふみの会)

第4土曜日グループウォーキング(ふみの会)

第1～第3月曜日 10時～12時(柿栗の会) ※2016年12月で終了。

第4月曜日グループウォーキング(柿栗の会) ※2016年12月で終了。

第1～第3木曜日 13時～15時(いろはの会)

第4木曜日グループウォーキング(いろはの会)

13) フォレストヨガ

地域婦人グループによるヨガ実践の会

毎週水曜 10時～11時30分

14) 世田谷書道会

地域未就学児童中心の書道学習会

毎月第1、2、3火曜日 13時～16時

指導：早川正子

15) 世田谷区主催の「認知症予防プログラム事業」を受託。

2016年度は、参加者が集まらなかったため、受託がありませんでした。

②施設管理およびその他の活動支援事業

施設のスペース及び備品の貸し出しを行ないました。活動スペースについては日曜日を除き、ほぼ100%に近い利用状況です。

6. 事業運営体制

①理事会

理事－7名 監事－2名

②事務局

・事務局長－1名 ・八幡山地域支え合い・介護予防事業担当－1名
・スタッフ－6名